

枝幸港本港新港地区小型船だまり整備事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	業務コストの削減	1,408	千円/隻・年	滞船コストの削減	1.0	億円/年
	業務コストの削減	968	千円/隻・年	船揚場整備による上下架作業コストの削減 船揚場整備による船体損傷の回避	0.3	億円/年
	漁獲物付加価値の向上	316	百万円/年	漁獲物付加価値の向上	3.2	億円/年
安全便益	安全性の向上	0.4	億円/隻・年	海難の減少	2.7	億円/年
その他の便益	作業コストの削減	18	百万円/年	屋根付き岸壁整備による作業コストの削減	0.2	億円/年
	残存価値	0.7	億円	土地の残存価値	0.7	億円

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費
事業の対象施設	物揚場(-2.5m)(船溜)、物揚場(-2m)(西)(改良)、防波堤(波除)(南)、船揚場(西)、物揚場(-3.5m)(中央)(改良)、物揚場(-3.5m)(西)(改良)等